

県大地域教員 育成プログラムとは

この事業は、地域や現場ニーズに対応した質の高い教師を養成し、確保することを目的として、高校生と大学生が交流する「入学前プログラム」等の実施や、教師を目指す高校生を受け入れる「地域教員希望枠」入試の創設、島根県教育委員会及び島根大学と連携した授業の実施、そして教員採用後のフォローアップまでを一貫して取り組みます。

step1

入学前プログラム

大学の授業体験や教育実習見学、教職課程に在籍する大学生との交流を通して、大学での学びのイメージを具体化し、皆さんの目指したい教師像を深めていきます。

step2

「地域教員希望枠」入試

総合型選抜に「地域教員希望枠」を新たに設け、大学卒業後、島根県内で教員として働く意欲を持った高校生を広く募集します。

※入試制度の詳細はP.4を参照してください。

step3

教員養成プログラム

学校現場の見学や現職教員による現場体験活動や、小中高校生への体験活動を通して、教育現場で求めティア活動など、実践的な授業にいきます。

講義を通して専門職について主体的に学ぶ学習支援・スクールサポーター活動などの資質能力について学ぶ教育職ボランより、現場のニーズに対応できる教師を育て

step4

教員採用試験

教員採用試験対策に向けて、専門スタッフによる相談や面接指導のほか、セミナーや模擬試験を開催し、試験対策をバックアップします。また、島根県公立学校教員(小学校、中学校(全教科)、特別支援学校(小学部))となることを第一志望とし、かつ学長の推薦を受けた方は、島根県公立学校教員採用試験の「島根創生特別枠」での受験が可能です。「島根創生特別枠」では第1次試験について、専門教養試験と教職教養試験が免除となり、論述試験のみとなります。

step5

採用予定者フォローアップ

教員採用試験合格後から大学を卒業するまでの間に、現場を体験する機会をととして、教師として働く準備をします。また教職センターの資料室には、授業づくりの参考となる専門書や、学校現場で使用している教科書等を揃えていますので、授業の指導案の作成や練習を行うこともできます。

卒業生の声

特別支援学校教諭 亀尾明花 (R4年度卒業)

大学入学時は保育士や幼稚園教諭に興味がありましたが、実習やサークル活動・ボランティアで養護学校へ行くうちに特別支援学校教諭になりたいと思うようになりました。特別支援は大変なイメージがあるかもしれませんが、1クラス3～4人で担当しているので、ほかの先生方と児童の様子を共有し、協力して支援することができま。また特別支援はICT教育が進んでおり、私もタブレット端末を使って得意なことができ、自分の特技が生かせることも特徴の一つです。教師になって、日々の子どもの成長を見ることがや、学び続けることの楽しさを感じています。



島根で教師になる!!

高校

大学

合格～卒業まで

